

第23回バリアフリー推進勉強会in関西

広域移動のアクセシビリティの向上と交通結節点のバリアフリー化 ～関西国際空港リノベーションの事例から～

関西国際空港の第1ターミナル改修の取組みが、当事者と事業者の信頼関係の構築によりバリアフリーやユニバーサルデザインの質と満足度を高めた好事例として高く評価され、関西エアポート株式会社は「第19回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」を受賞しました。

また、昨年開催した「大阪・関西万博」の際に、学識者等が移動に制約のある方々へ交通アクセス等に関するアンケート調査を実施したところ、交通結節点でのハード・ソフト両面の課題も明らかになりました。

そのことから、本勉強会では、広域移動の際のアクセシビリティ（利便性）の向上及び当事者の声を取り入れた施設整備やサービスのあり方等について考えます。

日 時 2026年10月6日(火)
13:30～16:30 (受付開始13:00)

会 場 ホテルプリムローズ大阪 2階「鳳凰(東)の間」

(大阪府中央区大手前3丁目1番43号) <https://www.primrose-osaka.com/>

【会場へのアクセス】

大阪メトロ谷町線、または中央線
「谷町四丁目」駅下車

【1-A】出口もしくは、
【1-B】出口より徒歩約1分

(バリアフリールートのご案内)

【1-A】出口⇒そのまま直進
⇒吹き抜け部分を越え、左側のエレベーターを利用すると、ホテルのフロントがあるフロア(2階)にお越しいただけます。



プログラム 【別紙1】をご参照ください。

定 員 ①会 場：50名 (先着順)

②オンライン(Zoomウェビナー)：300名 (先着順)

申込方法 【別紙1】の参加申込書でお申込みください。

申込期限 9月28日(月)

情報保障 文字通訳

※手話通訳等の文字通訳以外の情報が必要な方は、9月18日(金)までにお申込みください。

共 催：公益財団法人関西交通経済研究センター/公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
後 援：国土交通省近畿運輸局/神戸運輸監理部/関西鉄道協会/近畿バス団体協議会
(予定) 近畿ハイヤータクシー協議会/近畿旅客船協会/一般社団法人日本福祉のまちづくり学会関西支部
公益社団法人土木学会関西支部
お問合先：公益財団法人関西交通経済研究センター
(TEL:06-6543-6291 FAX:06-6543-6295 E-mail:info@kankouken.org)

第23回バリアフリー推進勉強会in関西

別紙1

<開催日:10月6日(火)13:30~16:30>



お申込み方法 (以下の①~③いずれかの方法でお申込みください。)

- ①メール (info@kankouken.org) で参加申込内容を送信
- ②FAX (06-6543-6295) で当用紙を送信
- ③右記QRコードのGoogleフォームから送信(<https://forms.gle/eqF4KztHBpTgvzhg7>)

プログラム

挨拶/趣旨説明	5分	(公財) 関西交通経済研究センター
基調講演	30分	「広域移動のアクセシビリティの連続性ー大阪・関西万博を対象にー」 石塚 裕子 氏 (追手門学院大学 地域創造学 教授)
取組報告1	25分	「関西国際空港第1ターミナルビルリノベーション工事におけるバリアフリー検討会について」 永山 あゆみ 氏 (関西エアポート株式会社 建築技術部 関空建築グループ)
取組報告2	25分	「関空の改修に当事者の意見をどのように反映することができたのか」 六條 友聡 氏 (社会福祉法人ぽぽんがぽん 理事)
パネル ディスカッション	75分	【ファシリテーター】新田 保次 氏 (大阪大学 名誉教授) 【パネリスト】 石塚 裕子 氏 (追手門学院大学 地域創造学部 教授) 永山 あゆみ 氏 (関西エアポート株式会社 建築技術部 関空建築グループ) 濱崎 はるか 氏 (新設Cチーム企画) 六條 友聡 氏 (社会福祉法人ぽぽんがぽん 理事) 渡部 安世 氏 (NPO法人兵庫県難聴者福祉協会 バリアフリー部長)

参加申込書 【締切:9月28日(月)】

※申込ご担当者様も参加の場合は、参加者名に再掲ください。
※情報保障として、手話が必要な場合は、下の口チェックを入れてください。
手話以外が必要な方は、具体的な内容を括弧内ご記入ください。

参加方式	☐ 会場 ☐ オンライン		
団体名			
ご担当者			
所属・役職			
E-mail		TEL	
※オンラインで参加の方には、開催日までに視聴用URLを上記ご担当者宛にお送りいたしますので、メールアドレスは必ずご記入ください。 なお、複数名でお申込の場合は、ご担当者から下欄の方々へ視聴用URLをご展開ください。			
	参加者名	所属・役職	
①			
②			
③			
情報保障について	☐ 手話 ☐ その他 () *手話通訳が必要な場合は9/18(金)までにお申込ください。		

※個人情報の取扱いについて
参加申込書にご記入いただきました個人情報は厳正に管理し、本勉強会に関する確認・連絡の際に使用させていただきます。
他の目的での利用や第三者へ提供することは一切ございません。

【お問合せ・お申込み先】

公益財団法人
関西交通経済研究センター

〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-6-2

TEL:06-6543-6291 FAX:06-6543-6295

E-mail info@kankouken.org

「第23回バリアフリー推進勉強会in関西」 登壇者紹介

■基調講演／パネリスト

○石塚 裕子（いしづか ゆうこ）氏／追手門学院大学 地域創造学 教授

大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）、技術士（都市および地方計画）。一般社団法人日本福祉のまちづくり学会副会長。専門はまちづくり学、バリアフリー計画学。

主な著書に『誰もがく助かる社会ーまちづくりに織り込む防災・減災』（共編著・新曜社）、『総合検証 東日本大震災の復興』（分担執筆・岩波書店）、『やっかいな問題はみんなで解く』（分担執筆・世界思想社）等がある。

■取組報告1／パネリスト

○永山 あゆみ（ながやま あゆみ）氏／関西エアポート株式会社 建築技術部関空建築グループ

2020年9月から2025年3月まで、関西国際空港第1ターミナルビルリノベーション工事の建築工事担当として、プロジェクト管理および関係者調整に従事した。旅客対応は主に他部署が担っていたが、バリアフリー検討会では立ち上げから中心的な役割を担い、関係部署との調整や検討会運営を主導した。さらに、障害当事者との直接対話を通じて空港利用者のニーズや課題を把握し、利用者目線を踏まえた施設整備の推進に取り組んだ。

■取組紹介2／パネリスト

○六條 友聡（ろくじょう ともあき）氏／社会福祉法人ぽぽんがぽん 理事

身体の筋肉が萎縮し筋力が低下する先天性ミオパチーという病気による四肢機能障害で、電動車いすを利用して生活。以下の委員を担当。茨木市総合交通戦略会議・茨木市バリアフリー基本構想協議会、移動等円滑化評価会議近畿分科会、関西国際空港第1ターミナルビルリノベーション・バリアフリー検討会、2025年大阪・関西万博（施設整備に関するユニバーサルデザインガイドライン・交通アクセスに関するユニバーサルデザインガイドライン・ユニバーサルサービスガイドライン（日本館・大阪ヘルスケアパビリオン））

■パネルディスカッション／ファシリテーター

○新田 保次（にった やすつぐ）氏／大阪大学 名誉教授

鈴鹿工業高等専門学校名誉教授、鳥羽商船高等専門学校名誉教授。交通計画、都市・地域計画が専門。持続可能な交通まちづくりを目指して、主に、福祉、環境面からアプローチ。著書多数。最近ではバリアフリーに関する社会貢献活動が多い。

■パネルディスカッション／パネリスト

○濱崎 はるか（はまさき はるか）氏／新設 C チーム企画

関西国際空港第1ターミナルビルリノベーション・バリアフリー検討会、LGBTQ フォローアップ会にLGBTQ 当事者委員として参画したほか、大阪市交通バリアフリー基本構想推進協議会専門委員（2023年9月～現在）、大阪府福祉のまちづくり審議会臨時委員（2025年6月～2026年3月）を務める。障害者、高齢者など当事者とともに、だれもが移動の自由を保障され、SOGIESCの違いに関わらず生きやすいまちづくりの実現と具体化に取り組んでいる。最近の旅行先はベトナム。

○渡部 安世（わたべ やすよ）氏／NPO 法人兵庫県難聴者福祉協会 バリアフリー部長

一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会情報文化部員（施設・交通アクセシビリティチーム・減災プロジェクトチーム）。中途失聴し、情報・コミュニケーションのアクセシビリティの重要性に気付き、電車のバリアフリーに取り組んだことから、移動等円滑化評価会議近畿分科会に参画。関西国際空港や成田空港、2025年大阪・関西万博のUDに携わる。